

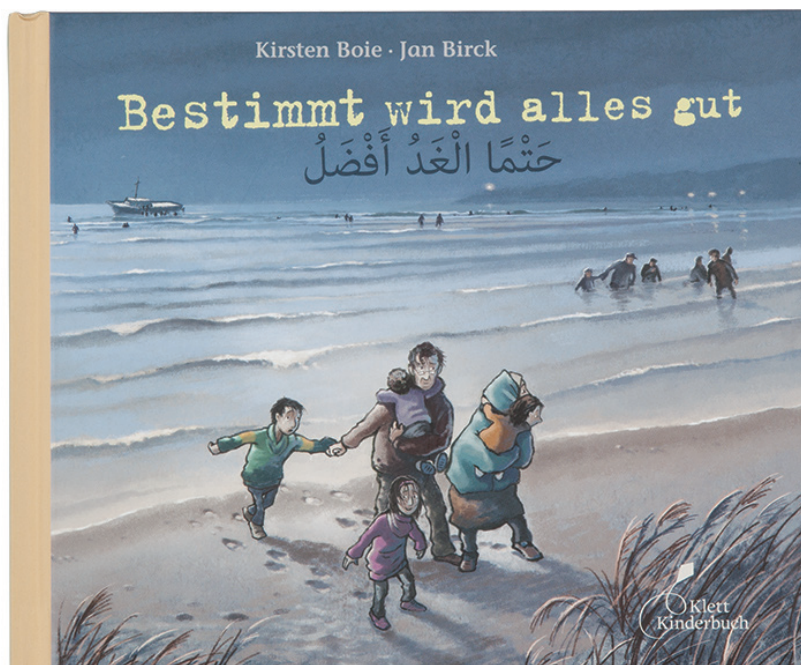
絵本『きつとうまくいくよ』

G0238

(文：キアステン・ボイエ、絵：イアン・ビルク、アラビア語訳：マフムード・ハサネイン)

ドイツ

世界のムスリムのくらしー同時代を生きる



アフリカや中東から、大勢の難民がヨーロッパに流れ込んだ2016年に、ドイツで出た子ども向けの絵本。親戚たちと住んでいたシリアの大きな家を爆撃で失い、3人の兄弟と父母とともに地中海を渡ってドイツに逃れた10歳の女の子ラハフと9歳の弟ハサンの体験を中心に語られている。物語はドイツ語とアラビア語の二か国語で書かれていて、本の最後には「名前は?」「ともだちになろうよ」といった簡単な表現が二か国語でまとめられている。

【山中先生からのひとこと】

戦火を逃れ、ラハフの家族はなんとかドイツにたどり着きます。でも、言葉がわからず学校になじめないし、お父さんも医者としての腕をいかせる仕事につけません。想像してみてください。自分の町が戦争や災害で住めなくなったらどうしますか? ラハフのような体験をした子が転校してきたら、どのように迎えてあげられますか?